

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

第48回全国大会決議

4～8面

大会への日本共産党・田村智子委員長あいさつ

10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsins@dylj.or.jp

3000人の拡大目標達成！ 民青の前進を次のステージへ



11月22～24日、民青同盟は第48回全国大会を開催しました。第45回大会から3大会期連続で拡大目標を達成しました。全国大会中に大会期累計拡大数は3251名となり、第47回大会目標である3000人を超過達成。同盟現勢は大きく前進しました。総選挙で自民党・公明党を過半数割れに追い込み、青年・国民が自民党政権に代わる新しい政治を模索する歴史的情勢が始まる下で迎えた全国大会。各地で青年を仲間へ迎えてきた同盟員の奮闘などが報告されるとともに、歴史的情勢を前に進め、自民党政権を乗り越える巨大なうねりを青年の中につくり出すための展望や決意なども語られました。

(塩田悠玄記者)

原動力は「青年のなか に分け入ったの拡大」

大会1日目は、青年のなかに分け入ったの拡大が、なるのか?」と思ってしまうような努力によってつづいてきた。以前の対話は、相手の思いに「あなたはいかに分け入ったのか?」と思ってしまうような努力によってつづいてきた。以前の対話は、相手の思いに「あなたはいかに分け入ったのか?」と思ってしまうような努力によってつづいてきた。

増玉同盟は331名の仲間を迎え、記録の残る1993年以降、最高の到達点を築きました。増玉同盟委員長の矢加部伸代議員は「この到達の原動力はなんといつも青年のなかに分け入ったの拡大だった」と

矢加部伸代議員は「この到達の原動力はなんといつも青年のなかに分け入ったの拡大だった」と

「相手の思いに沿って『あなたと一緒にやること』と励ましたり、『今こそが学びどきであること』を強調したり、(加盟を)呼びかけたり、『班が主人』と

「相手の思いに沿って『あなたと一緒にやること』と励ましたり、『今こそが学びどきであること』を強調したり、(加盟を)呼びかけたり、『班が主人』と

第48回全国大会

分け入ってが「班が主人公」の条件つくる

拡大目標を達成し、2000年4月以来となる3桁の仲間を迎えました。千葉県委員長代理の小林水晶議員も、「県同盟の前進は、一貫して青年のなかに分け入ったの拡大を継続してきたことづくられた」と話しました。昨年3月まで

東京副委員長の佐々木平代議員が、都同盟の目標だった1000人の大台を突破したことを報告すると、会場は大いに沸きました。佐々木代議員は、「都同盟が今後さらなる発展を遂げるには、継続してきた役員奮闘に加えて、班での発展——たまたかのなかで結びつきを広げ、『班が主人』で仲間を迎える、この発展が不可欠になる」と話しました。

は、多くの県役員が拡大で仲間を迎えられなかった状況が続いていました。そこで、加盟呼びかけ文を使って粘り強く加盟をうったえられていないなどの課題に基づいて正面から向き合う議論と実践をくり返し行っ

小林代議員は「この討議のくり返しで、常任が自信を持って仲間を迎えられるようになってきた」と話しました。

佐々木代議員は、「経験をつくりたい」と決意を述べました。

(2面につづく)